

## 留学生に対する教育支援（日本語教育支援プログラム）

日本国内でグローバルに活躍したい外国人留学生への支援として、「日本語教育支援プログラム」を実施。日本語力の向上だけでなく、ビジネスの場で活かせる理論的な発話の特徴を理解し実践できるようになること、またビジネスシーンだけでなく学生生活においても意識的に使えるようになることを目的とし、「日本語力判定テスト(J-CAT、JSST)」ならびに「ビジネス日本語集中講座」を実施した。

### 【対象学生】

以下の学生のうちビジネス日本語教育を希望するもの

- ・外国人留学生 学部1年生、2年生、3年生  
大学院博士前期課程1年生、後期課程1年生、後期課程2年生
- ・日本語上級レベルの交換留学生

### 日本語力判定テスト(J-CAT、JSST)

○J-CATテスト(オンラインテスト。聴解・語彙・文法・読解能力を測定)

受験期間：6月16日(木)～6月21日(火) 受験者：47名

○JSSTテスト(電話での会話テスト。口頭能力全般を測定)

受験期間：6月27日(月)～7月3日(日) 受験者：24名

日本語力のレベルを測り、「ビジネス日本語集中講座」の基礎資料として活用すること、ならびに学生自身が今後の学修計画を立てるための参考とすることを目的として実施。J-CATテストは、400点満点中280点以上が「就職可能性あり」とされており、受験者47名のうち8名が280点以上を獲得した。また、JSSTテストはLevelが10段階(初級:Lv1～3、中級:Lv4～8、上級:Lv9～10)に分かれており、受験者全員が中級に区分された。



講義の様子

### ビジネス日本語集中講座

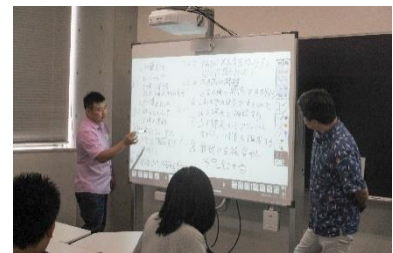
日時：2016年8月1日(月)、2日(火) 60分×6コマ

講師：武蔵野大学 准教授 神吉宇一氏(日本語教育学会副会長)

受講者：18名(中国15名、ネパール1名、大韓民国1名、ベトナム1名)

日本国内での就職を目指す留学生のビジネス日本語レベル向上を目的として、武蔵野大学 准教授 神吉宇一氏を講師に迎え、「ビジネス日本語集中講座」を実施した。日本の企業文化や敬語の使用方法に加え、ビジネスメールの書き方や電話対応のロールプレイングなど、実際のビジネスシーンで意識的に使用できるよう、実践的な学修を行った。

講座の最後には、「講座で何を感じ、何を考えたか」をテーマにグループワークを行い、講座の振り返りをするとともに、グループで活動することの楽しさや難しさを学んだ。



グループワークの様子

### 【受講者からの声】

- ・知らない日本語が多く、自分自身の実力や日本語レベルを知ることができた。
- ・ビジネス日本語だけでなく、日本企業の規則や常識も学ぶことができて良かった。
- ・チームワークやコミュニケーションの重要性、ビジネスマナーなども学ぶことができた。

